

令和元年度 児童養護施設静岡ホーム事業報告

「キリストの愛」と児童憲章や児童の権利に関する条約、児童福祉法、倫理綱領等に則り、すべての職員が一体となって「子どもの最善の利益」に適うよう、児童の権利を擁護し、自立に向けた支援計画を策定して、子どもたち一人ひとりが個性豊かでたくましく思いやりのある人間として育ち、自立した社会人として生きていくことができるよう多様な社会経験を積める機会を提供し、養育・支援を行った。

1 養育・支援

(1) 入退所児童の状況

何らかの事情により家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもの養育は、平成 24 年 3 月改正の児童相談所運営指針及び里親委託ガイドラインにおいて里親委託優先の原則がとられてきた。

また、平成 28 年改正の児童福祉法において「家庭（実父母や親族等を養育者とする環境）」に近い環境での養育を推進するため、「家庭における養育環境と同様の養育環境（養子縁組による家庭、里親家庭、ファミリーホーム）」において、継続的に養育されることが原則である旨が法律に明記され、養子縁組や里親・ファミリーホームへの委託を原則とすることとされた。

さらに、平成 29 年 8 月、厚生労働省の「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」において「新しい社会的養育ビジョン」が取りまとめられ、家庭養育優先原則が示された中、本年度は、入所児童 14 人、退所児童 11 人、月平均在籍児童 65.3 人で、定員に対する充足率は 80.6%であった。

入退所児童の状況 (単位：人)

区分	入所児童					退所児童						
	家庭	乳児院	他施設	ファミリーホーム	計	家庭引き取り	就職	大学等進学	児童心理治療施設	児童自立支援施設	あしたか職業訓練校	計
人数	9	2	2	1	14	4	4	1	0	2	0	11

在籍児童数の推移 (単位：各月初日、人、%)

年度		26	27	28	29	30	1
在籍児童数	延人数	885	790	792	803	770	784
	月平均	73.8	65.8	66.0	66.9	64.2	65.3

(2) 一時保護児童の受入れ

児童相談所における虐待対応件数の増加に伴う保護児童の増加や処遇困難な児童及び児童福祉法 28 条に至るケースなどで、一時保護期間が長期化するケースが増えたことにより、施設等への一時保護委託が増加し、本施設では児童 30 人を延 391 日受け入れた。受託日数の平均 13 日で最長は 119 日であった。

なお、一時保護児童には可能な限り登下校の送迎支援を行い、教育を受ける権利の確保に努めた。

(3) 食生活の向上

食生活委員会により、季節の伝統行事にまつわる食事の団子作りやケーキ鮎作りなどを子どもと共に実施した。また、選択メニューを増やしたり、新メニューを開拓するなど、飽きの来ない献立作りに努めた。嗜好調査は年2回、食に興味を持てるようクイズ形式にするなど工夫を凝らして実施した。

また、園内の畑で里芋や玉葱を育て、その成長過程を子どもと共に見守り、収穫し、食し、食材にも興味を持てるよう働きかけた。

アレルギーのある子どもには、原因食材を排除した料理を提供し、個々の体調に合わせた食事提供を心掛けた。

(4) 衣習慣の習得

衣服は清潔で身体や季節に合うものを選択すると共に、好みや個性を大切にしながら衣服を通じて適切に自己表現できるよう支援した。

また、購入には職員と一緒にでかけ、年齢や一人ひとりの子どもの状態にあった整理の仕方や TPO を意識した衣習慣が身につくよう支援した。

(5) 住環境の整美

住環境を整美するため、日々の掃除に努めるとともに、全体清掃では普段できない個所の掃除に加え、多くの子どもたちが意欲的に参加して、職員と運動場の草取りなどを行った。

また、2グループから3グループに変更した2階の破損していた家具の新調、壁やドア等の破損個所の大規模修繕を行い、心地良い落ち着いた住環境に整えた。

(6) 性に関する教育

安心・安全な施設生活を目指し、自立・共生の力を育むため、生（性）に関する正しい知識や関心が持てるよう、性教育委員会（かえでの会）を中心に「プライベートゾーン、プライベートエリア、回避行動（ノー・ゴー・テル）」を基本とする年齢別の学習会を行った。

対象児童	テーマ	目的・内容
幼児	いいタッチ・わるいタッチ（プライベートゾーン） プライベートエリア 回避行動	基本知識の確認 水着を体に当てる、いいタッチを実践する、プライベートゾーンに絵を合わせる等、動きを伴う学習による内容の定着を目指す
小学1～ 3年生	いいタッチ・わるいタッチ（プライベートゾーン） プライベートエリア 回避行動	基本知識の確認 不審者に遭遇した際のロールプレイを職員が実践し、子どもたちが行う
小学4～ 6年生	プライベートゾーン プライベートエリア	基本知識の確認 自分の身体を清潔に保つ方法を知る

対象児童	テーマ	目的・内容
	回避行動 洗体、洗髪の方法 二次性徴（月経教育含む）	二次性徴の正しい知識を身につけ、身体や心の変化を受け入れる準備を整える
中学生	身体の仕組み 二次性徴 思春期の変化 対人距離について	男女の両方の身体の仕組みについて知る 思春期の変化について理解し、自分の現在の状態を振り返る 自分にとっての不快な距離感、他者にとっての不快な距離感があることを知り、友人との適切な距離感について学ぶ
高校生	デートDV インターネットに潜む危険性 ネット依存による生活への影響	映像資料を用いて、互いを尊重し合う関係のあり方について学ぶ インターネットの危険性を知り、トラブル回避のための方法を学ぶ 子どもたちが自分のスマートホンを実際に操作し、不用意に個人情報を公開するような設定にしているか一緒に確認する

(7) 子どもの主体性を育む余暇活動

社会への適応性を高め、豊かな人間性を育てるため、子どもたちの意向を踏まえた園行事を企画し、クリスマス祝会や餅つき、節分豆まきといった季節行事に加え、レストランでの食事会のほか、夏はキャンプやプール、富士登山、冬は雪遊びやスケートなどを体験した。また、各種団体の招待・訪園行事を受け入れ、Jリーグエスパルスホームゲームでの全試合の観戦、映画鑑賞など、スポーツや文化・芸術などに触れる機会をもち、子どもたちが楽しみながら感性を磨き情操を育むよう努めた。

また、情緒を安定させ自立を支援するため、ピアノ教室と手芸教室を開講し、発表会を開催するなど、表現活動の場を設けた。

さらに、子ども自身が尊重されていると感じることができるよう、誕生日に職員と1対1でバースデーケーキを外食する機会も設けた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る外出自粛要請により、3/2以降の園外行事を中止し、感染予防に努めた。

区分	園企画行事	招待・訪園行事	県養協行事
件数	43	46	4

(8) 学習・進学支援

基礎学力の向上と学習習慣の定着を図るため、小学生を対象に個々の能力に合った公文式学習に取り組み、目標を設定することで、主体的に学習に向かえる児童が増えてきた。

また、学習ボランティアの活用や中・高校生の通塾により、大学等の高等教育への進学意欲が高まり、令和元年度は4年制大学に1名進学した。

(9) 心理的ケアの充実

愛着形成や自己肯定感の向上を図るため、グループ心理療法、児童相談所嘱託医による心理的・医学的知見を現場へと伝えるスーパービジョンを実施した。

また、個別のケアが必要な児童については、静岡市児童相談所におけるプレイセラピーや園内の個別面接で対応し、それ以外の児童は生活場面の要所で心理的知見に基づく関わりやアドバイスを通じて日常的にケアを行った。

区分	スーパービジョン	グループ心理療法	プレイセラピー	個別面接
回数	12（毎月1回）	14（7人×2グループ）	72（36回×2枠）	62（3ケース合計）

(10) 自立支援の充実

小中学生を対象としたCCP（キャリア・カウンセリング・プロジェクト）や、高校生までを対象としたお仕事フェスタの開催、里親家庭や他施設の高校生も対象とした自立支援講座を実施した。

また、施設退所児童や里親家庭から自立した児童に対して、電話やメール、家庭訪問により近況を確認し、通院対応や生活上の相談・指導を行うことで、社会的自立を支えた。

2 家族への支援

児童の早期家庭復帰や親子関係の修復・再構築に向け、親の仕事の都合や家庭状況に合わせた、月2回の定期的な面会・外出・外泊と夏季・冬季における1週間の長期外泊を実施した。

また、交流前には保護者に施設や学校等での様子（幼児や低学年児については、担当職員との交流ノートを活用）を伝え、交流後には要望のある保護者と個別に時間を設けて、子どもの養育や今後の交流について相談を受けると共に、家庭状況の把握・確認を行った。その結果、本年度、家庭引き取りとなったケースは4家庭4名、交流が開始されたケースは8家庭11名であった。

また、家庭状況の悪化等により、交流を一時停止したケースは2家庭3名であった。

3 自立支援計画

関係職員（担当職員や基幹的職員、家庭支援専門相談員、心理療法担当職員、里親支援専門相談員など）によるケース会議及び児童相談所との連絡会を開催して、年2回（年度当初・中間期で見直し）、学校や保護者、児童の意見を反映した自立支援計画を作成したが、子どもの権利を保障し、適切な養育を行うためには、一人ひとりの子どもの心身の発達と健康の状態及びその置かれた環境を的確に把握・評価（アセスメント）し、ケアプランを立てる必要があるため、養育支援と家庭復帰支援からなる新たなプランを作成することとした。

「つながる力」「挑戦する勇気」の力」「能力」「かけがえのない自分を認める力」の4項目を高める支援を軸に、医療面、心理面、ファミリーソーシャルワークなどを多角的にアセスメントし、具体的に支援する内容を設定しており、ケアプランに基づく養育により支援

の質の向上を目指していく。

4 権利擁護

(1) 人権擁護と人権侵害の防止

子どもたちの人権を守り、子どもたちが安心して生活が営めるよう、県児童養護施設協議会主催の権利擁護推進研修会への職員の参加、「懲戒に係る権限の濫用禁止（平成10年2月18日）」及び児童福祉法第33条の10に係る「被措置児童等虐待対応ガイドライン」の周知と「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」による自己点検、投書箱「こどもの声」の設置などにより人権擁護と人権侵害の防止に努めた。

(2) 被措置児童虐待対応

子どもたちに対する虐待や虐待を疑わせる行為、或いは虐待と受け止められる行為の防止について徹底を図るため、グループ会議の議題に取り上げ、加えて職員会議で再確認する場を設けて職員全体で被措置児童虐待防止に取り組んだ。児童の問題行動には複数の職員で対応し、虐待を疑われる状況が発生しないよう努めた。

また、投書箱「こどもの声」を設置することで子どもたちからの直接的な訴えができる環境を用意し、安心・安全で透明性の高い養育を心掛けた。

5 事故防止と安全対策

災害時における児童の安全を確保し被害の軽減を図るため、消防設備機器等の取扱いを学ぶとともに、火災・地震を想定した定期的な通報・消火・避難訓練を実施した。

また、事故や災害等を未然に防止するため、建築基準法等に基づいた建築設備定期検査、消防設備点検、電気設備点検、貯水槽点検・清掃などを実施した。

新型コロナウイルスの感染拡大防止については、国の方針に沿ってマスクの着用や手洗い、手指等の消毒の徹底、日常的な健康状態の確認、三密（密集・密閉・密接）の回避などの対策を講じた。

年間を通じて入所児童の重大な受傷、疾病に至る事故等の発生はなかった。

6 地域交流と地域支援

(1) 地域との交流

地域に開かれた施設としてグラウンドや楓ホールを開放するとともに、町内会との防災訓練や井宮秋フェスタの共同開催、子供会行事を含む町内行事に参加し、交流を深めた。

また、子どもたちの学習やイベントなどを支援するボランティアを積極的に受け入れた。

(2) 地域支援

保護者の疾病、その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合のショートステイの受け入れや要保護児童対策地域協議会への参加、里親

支援などに取り組んだ。

また、近隣の大学からの要請を受け講師として職員を派遣したり、関係機関・団体からの施設見学を積極的に受け入れた。

7 職員の専門性の向上

被虐待児の入所が半数を超え、処遇困難なケースや発達障害の表れを有する児童が増加しており、養育を担う職員のより高い専門性が要求されている。

また、今後整備される本体施設の小規模ユニットや地域小規模児童養護施設等のグループホームにおいては、職員一人ひとりの力量が問われ、知識・技術・経験に裏打ちされた養育が必要とされるので、職員のスキルアップを図り、専門性を高めるため、研修計画に基づき、県社協等関係団体主催の研修に職員を派遣すると共に、CARE プログラムワークショップやコモンセンス・ペアレンティング習得などの職場内研修を実施した。

区分	職場内研修	職場外研修	
		県社協等	県養協
件数	15	27	8

8 施設の運営

(1) 会議・委員会等の開催

子ども一人ひとりの養育の向上と円滑な施設運営を図るため、施設内における各種会議や委員会の開催とともに、関係機関との連絡会を開催した。

○施設内の各種会議

名称	開催回数	内容
運営会議	11	施設の運営方針等重要事項、課題等の検討
職員会議	12	施設運営に関わる事項（運営・指導方針、行事予定、提案事項等）の調整、周知
グループ会議	11	児童の生活支援等グループ運営事項（運営計画・自立支援計画・児童処遇・行事等）の調整
ケース検討会議	毎月	支援内容の評価及び協議・検討
ケース会議	随時	ケースの処遇方針等の協議調整
朝会	毎日(日-祝除く)	日々の連絡調整
サービス向上推進会議	5	第三者評価結果における改善事項の協議調整
養育支援マニュアル 検討委員会	5	標準的な実施方法にあたる養育マニュアルの作成
食生活委員会	10	食を通じた健康・衛生・嗜好を知る機会の提供
性教育委員会	10	性教育の実践
防災対策委員会(防災会議)	12	消防計画の委員会審議事項の協議調整、防災訓練の実施
苦情解決委員会	1	第三者委員との定期協議
養保連絡会	6	養護施設との保育所の連携業務の調整

○関係機関との連携

児童相談所、幼稚園、小中高等学校

(2) 人事・労務・健康管理

ア 職員の確保

措置費加算対象の基幹的職員、心理療法担当職員、里親支援専門相談員、家庭支援専門相談員、看護師、学習指導員及び特別指導員を配置するとともに、静岡県補助金により心理療法担当職員を配置し、養育・支援体制の充実に努めた。さらに静岡県より生活相談支援事業を受託し、生活相談支援担当職員を配置した。

また、保育所の定員増や認定こども園の創設等による保育士需要の高まりに加え、企業の好業績を背景とした求人増などにより、職員の確保が難しくなっているため、大学等への求人に加え、宿泊を伴う実習生の受入れと適切な実習指導、インターンシップの受入れ、求人サイトの活用などにより職員の確保に努めた。

イ 職員の健康の維持

職員の心身の健康に留意し、定期的な健康診断、インフルエンザの予防接種を行うとともに、リフレッシュ休暇（年2回の4連休）の取得促進などにより職員の健康の維持・増進に努めた。

(3) 施設・設備の保全

安全で快適な生活環境と施設機能の維持・耐久性の確保を図るため、老朽化した施設・設備の補修、故障・破損した備品の買い替え等を行った。

○施設・設備（基本財産、固定資産に当たるもの及び30万円以上の修繕等）

公用車更新（トヨタ：ルーミー） 井戸清掃工事 各所修繕工事
保育棟改修工事（自活訓練・親子交流・心理療法室整備）

○器具及び備品（10万円以上のもの）

事務用パソコン 2F男子ソファセット AED
給茶機 箱庭セット（心理療法）

(4) 施設運営の質の向上

平成29年度に受審した第三者評価結果に基づき、児童養護施設運営指針に掲げられている目指すべき状態に近づけられるよう、サービス向上推進会議において問題点の改善に努めた。

また、養育支援マニュアル検討委員会において、養育支援担当の標準的な実施方法を示す養育支援マニュアル「幼児編、学齢児編、地域小規模編」の3編を作成した。

(5) 業務管理システムの運用

児童に関する記録や園務日誌、グループ日誌、ケース記録、各種データなどをパソコンで一括管理する業務管理システム「抱～いだき～」の運用入力書式をマニュアル化した。

(6) 福祉専門職養成校実習生の受入れ

県内外の大学、短期大学、専門学校福祉専門職養成校に在籍する学生の施設実習を受け入れ、福祉分野への就労を志す者の養成に寄与した。

また、児童福祉施設業務を体験し、知識を深めたいとする学生についても、児童のプライバシーの保護と安全に十分配慮しながら、事情の許す範囲でインターンとして受け入れた。

ア 実習

(単位：校、人日)

区分	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅲ	ソーシャルワーク実習	計
実習校	13	1	3	17
実習生	35	1	4	40
実習延日数	369	12	66	447

イ インターンシップ

参加者数	参加延日数	参加者の在籍校
13	25	静岡大学、長野大学、常葉大学、立正大学、愛知淑徳大学 他4校

9 広報活動の推進

開かれた施設運営を目指し、ホームページや広報誌、DVD（動画）により、施設の取組みや子どもたちの生活の様子を発信した。

10 里親支援

里親家庭への訪問及び電話・メール相談、児童相談所を含む里親支援機関との連携、里親の認定前・更新実習の受け入れや「未受託里親養育体験事業」を実施した。

また、里親との懇談会を開催して相互理解を深めるとともに、各種里親普及啓発イベント等への参加、関係団体等の施設見学の際の里親制度の説明などを行った。

11 施設の小規模化と地域分散化の推進

施設の小規模化、地域分散化による「できる限り良好な家庭的環境」を確保し、質の高い個別的ケアを推進するため、住宅メーカー及び不動産業者に小規模グループケア施設（地域小規模児童養護施設または分園型小規模グループケア施設）を設置する賃貸物件や建設用地の情報提供を要請してきたが、適当な物件がなく賃貸借契約や用地取得は翌年度以降になった。

《附属明細書》

1 入退所状況

(1) 入退所状況

(単位：人)

区分	H30 年度末	入 所							退 所					R1 年度末	
		家庭	乳児院	児童養護 施設	児童自立 支援施設	ファミリ ーホーム	その他	計	家庭	他施設	就職 自立	里親 委託	その他		計
男	28	5	1	1	1	0	0	8	2	2	2	0	0	6	30
女	31	4	1	0	0	1	0	6	2	0	2	0	1	5	32
計	59	9	2	1	1	1	0	14	4	2	4	0	1	11	62

(2) 月別在籍児童数

(単位：人、%)

区分	定員	初日在籍児童数									充足率
		施設別		学齢別					計		
		本園	小鹿寮	幼児	小学生	中学生	高校生	その他			
31/4	81	59	5	7	26	16	8	7	64	79.0	
R1/5	81	59	5	9	27	16	8	4	64	79.0	
6	81	60	5	9	27	17	8	4	65	80.2	
7	81	60	5	9	27	17	8	4	65	80.2	
8	81	60	5	9	27	17	8	4	65	80.2	
9	81	59	5	9	27	16	8	4	64	79.0	
10	81	59	5	10	27	16	8	3	64	79.0	
11	81	59	5	10	27	16	8	3	64	79.0	
12	81	62	5	12	28	16	8	3	67	82.7	
R2/1	81	63	5	12	28	17	8	3	68	84.0	
2	81	62	5	12	28	17	8	2	67	82.7	
3	81	62	5	12	28	17	8	2	67	82.7	
計	972	724	60	120	327	198	96	43	784	80.6	

(3) 一時保護児童数

(単位：人)

区分	31/4	R1/5	6	7	8	9	10	11	12	R2/1	2	3	計
児童数	12	4	1	1	1	2	5	5	1	0	2	4	38
延人数	102	41	27	31	31	48	30	44	6	0	6	25	391

*実人員は30人

(4) ショートステイ受入児童数

(単位：人)

区分	31/4	R1/5	6	7	8	9	10	11	12	R2/1	2	3	計
児童数	2	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	7
延人数	4	4	0	0	0	2	21	0	0	0	0	0	31

*実人員は6人

(5) レスパイトケア受入児童数

(単位：人)

区分	31/4	R1/5	6	7	8	9	10	11	12	R2/1	2	3	計
児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*実人員は0人

2 入所児童の状況

(1) 年齢・男女別児童数

(令和2年3月1日在籍児童：人)

区分	年 齢																		総数	平均年齢
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
男	0	0	1	1	2	3	4	0	3	2	1	3	4	1	1	2	2	3	33	11.5
女	0	0	1	2	4	0	2	3	1	2	1	5	3	4	3	1	1	1	34	11.1
計	0	0	2	3	6	3	6	3	4	4	2	8	7	5	4	3	3	4	67	11.3

(2) 措置時の年齢

(令和2年3月1日在籍児童：人)

区分	年 齢																		総数	平均年齢
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
男	0	7	1	2	3	3	1	3	1	1	2	0	3	3	3	0	0	0	33	8.2
女	0	12	5	4	1	2	4	1	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	34	5.4
計	0	19	6	6	4	5	5	4	3	1	3	0	3	4	3	1	0	0	67	6.9

(3) 在籍児童の在所期間

(令和2年3月1日在籍児童：人)

区 分	児童数	区 分	児童数	区 分	児童数
1年未満	14	7年以上 8年未満	2	14年以上 15年未満	0
1年以上 2年未満	6	8年以上 9年未満	3	15年以上 16年未満	0
2年以上 3年未満	9	9年以上 10年未満	3	16年以上 17年未満	1
3年以上 4年未満	10	10年以上 11年未満	1	17年以上 18年未満	0
4年以上 5年未満	5	11年以上 12年未満	2	18年以上	0
5年以上 6年未満	5	12年以上 13年未満	2	計	67
6年以上 7年未満	3	13年以上 14年未満	1	平均在所期間	4年6ヵ月

(4) 出身地別児童数

(令和2年3月1日在籍児童：人)

措置機関	静岡市		静岡県						浜松市		計
	静岡市	沼津市	島田市	富士市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	浜松市		
人数	41	0	3	3	6	6	4	3	1	67	
	41	25						1			

(5) 措置理由別児童数

(令和2年3月1日在籍児童：人、%)

入所理由（主訴）	人数	割合	入所理由（主訴）	人数	割合
父母の死亡	0	0	父母の放任怠惰	15	22.3
父母の行方不明	0	0	父母の虐待	27	40.3
父母の離婚	0	0	父母の養育拒否	6	9.0
父母の不和	1	1.5	棄児	0	0
父母の拘禁	2	3.0	破産等経済的理由	1	1.5
父母の入院	1	1.5	児童の監護困難	2	3.0
父母の就労	2	3.0	その他	1	1.5
父母の精神障害	9	13.4	計	67	100.0

(6) 被虐待児童数 (令和2年3月1日在籍児童：人、%)

虐待の種類	人数	割合
身体的虐待	22	40.7
性的虐待	1	1.9
ネグレクト	23	42.6
心理的虐待	8	14.8
実人員	54	100.0

(7) 入所経路

(令和2年3月1日在籍児童：人)

家庭	乳児院	児童養護施設	情緒障害児治療施設	児童自立支援施設	里親	その他	計
47	13	2	1	1	2	1	67

(8) 保護者の状況

(令和2年3月1日在籍児童：人)

実父母あり	実父のみ	実母のみ	実父と養(継)母	養(継)父と実母	祖父母	伯(叔)父母	その他	不明	計
21	5	29	3	6	3	0	0	0	67

(9) 児童の心身の状況

(令和2年3月1日在籍児童：人)

健全	43	外傷後ストレス障害（PTSD）	1
身体虚弱	0	反応性愛着障害	6
肢体不自由	1	注意欠陥多動性障害（ADHD）	5
視聴覚障害	0	学習障害（LD）	0
言語障害	1	広汎性発達障害（ASD）	8
知的障害（IQ69以下）	7	適応障害	0
てんかん	0	その他	2

*医師の診断によるもの 重複あり

(10) 児童の罹患傾向

(令和2年3月1日在籍児童：人)

ほとんど病氣しない	29	ぜんそく	3
ひきつけをすることがある	0	食物アレルギー	0
下痢をしやすい	3	その他のアレルギー	7
よく熱を出す	3	花粉症	17
風邪をひきやすい	0	その他	12
湿疹が出やすい	3		

*重複あり

(11) 退所児童の在所期間

(令和元年度退所児童：人)

区 分	児童数	区 分	児童数	区 分	児童数
1 年未満	2	7 年以上 8 年未満	0	14 年以上 15 年未満	1
1 年以上 2 年未満	0	8 年以上 9 年未満	0	15 年以上 16 年未満	1
2 年以上 3 年未満	1	9 年以上 10 年未満	1	16 年以上 17 年未満	0
3 年以上 4 年未満	2	10 年以上 11 年未満	0	17 年以上 18 年未満	0
4 年以上 5 年未満	0	11 年以上 12 年未満	1	18 年以上	0
5 年以上 6 年未満	1	12 年以上 13 年未満	1	計	11
6 年以上 7 年未満	0	13 年以上 14 年未満	0	平均在所期間	6年10か月

(12) 中高生の進路

(令和2年3月末：人)

区分	進学	就職自立	進学・その他 (家庭引取り)	計
中学生	公立高等学校×2 私立高等学校 県立特別支援学校高等部	—	—	4
高校生	私立4年生大学	プラスチック加工	—	2

(13) 児童の非社会的問題傾向

(令和2年3月1日在籍児童：人)

問題なし	不登校	孤立・内閉	夜尿・失禁	神経症習癖症状	学業不振	その他
33	2	5	13	16	14	1

*重複あり

(14) 児童の反社会的問題傾向

(令和2年3月1日在籍児童：人)

問題なし	窃盗	弄火 放火	無断外出 外泊	乱暴 暴行	金品 持ち出し	飲酒	喫煙	性的問題	その他
50	9	0	1	12	0	2	0	0	4

*重複あり

3 行事の実施状況

(1) 園企画行事

(単位：人)

月日	行事名	グループ名	参加児童数
4/2	新入学児童祝い外出「東京ディズニーリゾート」	3男・3女・2男・2女	15
4/5	創立記念礼拝「創立112周年」	全グループ	64
5/1~6	ゴールデンウィーク在園児外出映画鑑賞 「シネシティザード」	全グループ	38
5/2	ゴールデンウィーク在園児外出「伊豆くらんぼる公園」	のぞみ・3男・3女	17
5/3	ゴールデンウィーク在園児外出 「グランシップこどものくに～ふしぎなかたち～」	幼児	7
5/3	ゴールデンウィーク在園児「サファリパーク」	のぞみ・2女	3
5/4	ゴールデンウィーク在園児「22世紀の丘公園」	2男	8
5/12	幼稚園児外出「トレインフェスタ」	幼児	9
6/16	食育行事「カレーライス・フルーツポンチ作り」	全グループ	58
7/30	夏の特別行事「富士登山」	のぞみ・3男・3女	10
7/31	夏の特別行事「富士宮市民プール」	のぞみ・2女	4
8/2	お仕事フェスタ	3男・3女	14
8/5	夏の特別行事「土肥海水浴場」	2男	9
8/6~7	夏の特別行事「ランドホピア」	のぞみ・3男・3女・2男	13
8/10	井宮町七夕夏まつり	全グループ	65
8/11~18	夏の在園児外出映画鑑賞「シネシティザード」	全グループ	43
8/14	夏の在園児外出「西ヶ谷プール」「るくる」	2男	6
8/14	夏の在園児外出「ラグーナテンボス」	のぞみ・3男・3女	20
8/16	夏の在園児外出「西ヶ谷プール」	幼児	10
8/21	夏の特別行事「つま恋ウォーターパーク」	のぞみ・3男・3女	12
8/27	夏の特別行事「富士山こどもの国」	幼児	10
9/28	幼稚園児外出「日本平動物園」	幼児	7
10/13	食育行事「パン作り」	全グループ	37
12/25	クリスマス祝会	全グループ	67
12/30	餅つき	全グループ	40
12/29~1/5	冬の在園児外出映画鑑賞「シネシティザード」	全グループ	27
12/31	冬の在園児外食「すたみな太郎」	のぞみ	3
1/1	冬の在園児外出「浅間神社初詣」	全グループ	27
1/2	冬の在園児外出「ボーリング」	3男・3女	16
1/2	冬の在園児外出「エスパルスドリームプラザ」	2女	1
1/3	冬の在園児外出「東海大学海洋学部博物館」	2男	7
2/1	冬の特別行事「富士川楽座」	2男	6
2/3	節分豆まき	全グループ	67

月日	行事名	グループ名	参加児童数
2/11	冬の特別行事「ぐりんぱ」	幼児・2男・2女	16
2/15	冬の特別行事「てんとう虫パーク」	のぞみ・2男・3男・3女	8
2/18	冬の特別行事「スノータウンイエティ」	幼児	5
2/23	食育行事「太巻き・ケーキ寿司作り」	全グループ	41
3/3~3/15	園内映画鑑賞会	全グループ	67
3/8	園内交流フットサル大会	2男・3男	19
3/14	園内交流バレーボール大会	3女	9
3/18,21, 24,27	園内グループ親睦食事会	のぞみ・幼児・2男・2女・3女	49
3/20	卒園の会	全グループ	65
3/23	園内ピアノ演奏発表会・手芸工作教室作品展	2女・3女	7
年間	CS(週例) 夕拝(月例) 誕生会(年間)		

*新型コロナウイルス感染拡大防止を図る外出自粛要請により3/2以降の園外行事を中止した。

(2) 招待・訪園行事

(単位：人)

月日	行事名	グループ名	参加児童数
5/25	「三菱電機(株)労働組合サンサンフェスタ」招待	2男・2女・3男・3女	16
6/2	「大浜ビーチフェスタ」招待	のぞみ・2男・2女・3男・3女	27
6/15	静岡英和女学院「花の日訪園」22人	幼児・2女	13
6/17	西ロータリークラブ「バルーンアート教室」	2男・2女・3男・3女	28
7/13	スイカ狩り招待	2男・2女	6
8/1	日本キリスト教団静岡教会CS「サマーパーティー」	全グループ	30
8/8	しずおか焼津信用金庫「夏休み子ども映画会」招待	幼児・2男・2女	28
8/10	井宮町七夕夏まつり「子どもみこし」参加	全グループ	62
8/15	パティスリー・サリュ「ケーキ作り体験」	全グループ	49
8/24	静岡巽ライオンズクラブ「国際交流夏祭り」	全グループ	65
9/21	静岡大学管弦楽団演奏会	全グループ	33
9/24	中国料理協会夕食提供	全グループ	64
9/28	静岡ライオンズクラブ 「エバーグリーンガーデンバーベキュー」招待	のぞみ・2男・2女 ・3男・3女	17
10/6	安西学区大運動会	のぞみ・2男・2女・3男・3女	19
10/9	ふるさと・西尾商店 夕食提供	全グループ	64
10/20	食肉組合内人会 夕食提供	全グループ	59
11/2	静岡英和女学院「収穫感謝の日」訪園21人	幼児・2男・2女	26
11/2	静岡市里親家庭支援センターみかん狩り招待	幼児	10
11/17	日本キリスト教団静岡教会CS子ども祝福式	幼児・2男・2女	39

月日	行事名	グループ名	参加児童数
12/7	静岡英和女学院「クリスマス」訪園	幼児・2男・2女	36
12/8	ピュール七五三写真撮影招待	幼児・2女	3
12/15	CSクリスマス祝会	全グループ	30
12/23	競輪選手(小林・櫻井・水野) ランドセル寄附	幼児	2
12/30	静岡巽LC望月宅クリスマスイルミネーション見学	全グループ	20
1/25	静岡友の会「調理体験」招待	のぞみ・2男・3男・3女	8
2/2	井宮町内会餅つき	全グループ	40
年間	Jリーグ観戦(観戦チケット寄附)	のぞみ・2男・2女・3男・3女	104

(3) 県養協行事

月日	行事名	結果
5/11	第37回静岡県児童福祉施設絵画展表彰式	銀賞4名、銅賞1名、佳作2名、特別奨励賞2名
8/22	第47回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	ベストチーム 4位、小学生チーム 3位
11/23	第7回静岡県児童福祉施設オセロ大会	U-12 2名、U-18 2名 予選敗退
1/12	第42回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	中・高男子 優勝、小学生男子 準優勝 小学生女子 5位

4 ボランティアの活動

(単位：人)

活動内容	協力者	人数	延人数
学習指導	常葉大学学習ボランティアグループ	34	451
	大学生(稲葉蒼馬、石川美波、望月彩音様)	3	65
環境整備	静岡巽ライオンズクラブ	45	45
	静岡英和女学院中学校・高等学校	21	41
	籠上中学校成人教育委員会	5	10
	本多幸恵様(餅つき)	1	1
	塚本様	1	42
	御前崎更生保護女性会	18	18
	天理教此岡分教会	4	4
散髪	理美容奉仕グループ	3	19
	1/10' プロジェクト	5	25
計		140	721

5 心理対応

(1) スーパービジョン

(単位：人)

年月日	対象児童	テーマ・内容	精神科医	参加職員数
4/17	5人	昨年度のケースの振り返り	三田 Dr	13
5/15	5人	昨年度のケースの振り返り	奥村 Dr	12
6/19	年少女児	本児の行動の特徴、今後の支援方針について	三田 Dr	20
7/17	中1 男児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針について	奥村 Dr	15
9/11	小1 男児	本児の発達の特徴、今後の支援方針について	三田 Dr	17
9/18	小6 女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針について	奥村 Dr	14
10/16	小3 女児	成育歴から見た本児の現状と今後の支援方針	三田 Dr	12
11/20	高1 男児	特徴の医学的捉え、有効的な関わり方	奥村 Dr	12
12/18	小4 女児	本児の行動の特徴、具体的な支援方策について	三田 Dr	15
1/15	小6 女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針について	奥村 Dr	13
2/19	小1 女児	本児の行動の特徴、今後の支援方針について	三田 Dr	16
3/4	中2 女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針について	奥村 Dr	7

*子どもや家族への支援向上を目指す現場重視の事例検討

(2) グループ心理療法

対象児童	実施時期	実施回数	目的・内容
7人 (年長・小1)	6~7月 9~2月	1回/月	大人と1対1で関われる時間を持ち、愛着形成や自己肯定感の向上を図る。安心感の下で適切に人と関わりを持てるようにする。

(3) プレイセラピー

対象児童	実施回数	実施時間	目的・内容
3人	2回/月	1時間/人	遊びを通して関わることで、子どもの不安全感や怒り、劣等感、寂しさ等の感情を緩和・軽減させる。 毎回1時間、施設心理士との勉強会の時間を設け、その中でケースについても話し、児相担当 Th を含む3者で密な連携を図っていく。

(4) その他心理療法等 (単位：回)

心理療法	生活場面面接
85	518

6 自立支援の状況

(単位：件)

対象児童	支援項目	件数	支援内容
入所児童	ソーシャルスキルアップ	280	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除洗濯等生活指導（通年指導） ・調理体験 ・自活訓練指導
	自立支援教育	63	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡銀行協会「どこでも出張講座」（高校生） ・(株)フェアスタート「キャリアデザイン講座」（高校生） ・お仕事フェスタ（小学生高学年から高校生） ・企業見学ツアー（中高生） ・(株)東海道シグマ「新社会人セミナー」
退所児童	電話・メール	245	<ul style="list-style-type: none"> ・近況確認 ・相談援助 （体調不良、人間関係、近隣トラブル、税金について、各種行政手続き など） ・生活支援 （引越し手伝い、通院同行、部屋掃除手伝い など） ・就労支援 （関係機関との連絡調整、就労継続のための職場訪問、離職手続き など）
	来園面接	20	
	訪問面接	85	
	職場訪問	13	
	その他	47	
計		753	

7 児童の健康管理

(1) 月別受診状況

(単位：人)

年月	外科 整形外科	内科 小児科	眼科	歯科	皮膚科	耳鼻科	神経科 その他	計
31/4	9	62	5	6	4	12	4	102
1/5	14	9	7	0	2	12	4	48
6	17	10	7	5	3	17	9	68
7	7	21	13	5	6	12	9	73
8	4	15	8	4	4	11	7	53
9	9	10	1	6	4	8	10	48
10	16	9	0	5	4	14	9	57
11	7	15	1	1	1	12	12	49
12	4	24	1	4	5	10	9	57
2/1	6	12	0	2	1	11	9	41
2	5	15	2	1	2	17	10	52
3	1	8	3	4	1	18	10	45
計	99	210	48	43	37	154	102	693

(2) 健康診断・予防接種

(単位：人)

区分		月日	対象児童	人数	備考
健康診断		8/20	幼児～高校3年生	60	
		3/10	幼児～高校3年生	63	
予 防 接 種	DT (ジフテリア・破傷風)	4/27	中学生	4	
		2/13	中学生	2	
	MR (麻疹・風疹)	4/27	中学生	2	追加
		5/27	幼稚園児	1	
		6/21	幼稚園児	1	
		6/28	幼稚園児	1	
		7/23	小学生	2	
		7/25	小学生	1	
		7/25	中学生	1	
	日本脳炎	4/27	中学1年生	1	追加
		6/21	幼稚園児	2	1回目
		6/28	幼稚園児	1	1回目
		7/29	幼稚園児	3	2回目
		12/12	幼稚園児	1	1回目
		12/12	幼稚園児	2	追加
		1/6	幼稚園児	1	2回目
		2/13	中学生	1	追加
	DPT-IPV (ジフテリア・百日咳・ 破傷風・不活化ポリオ)	12/12	幼稚園児	1	追加
	インフルエンザ	11/8	高2	1	修学旅行
		11/21	高3	1	就職活動
		11/26	小2	1	ネフローゼ症候群罹患児童
		11/28	高3	1	大学受験
		11/29	中3	1	高校受験
12/6		中3	1	高校受験	

8 家族（保護者）支援等の状況

(1) 家族（保護者）との交流状況

(令和2年3月1日在籍児童：人)

交流あり				交流なし	計
帰宅	外出	面会	電話・手紙		
20	7	18	2	20	67

(2) 家族（保護者）との交流頻度

(単位：人)

区分	月1回以上	年2回～11回	年1回位	計
帰宅	18	2	0	20
外出	3	4	0	7
面会	1	11	6	18
電話・手紙	0	0	2	2

(3) 一時帰省状況

(単位：人)

区分	期間	児童数	備考
夏季	8/11～8/18	18	夏季・冬季ともに個別のケース対応により期間長短あり
冬季	12/29～1/5	22	

(4) ショート・ルフラン里親

(単位：人、日)

区分	31/4	R1/5	6	7	8	9	10	11	12	R2/1	2	3
児童数	4	5	4	4	4	4	4	4	10	3	4	3
延日数	11	31	16	23	22	18	18	12	50	10	12	3

9 子どもの意向・苦情（こどもの声への投書）

(単位：件)

要望	改善提案	苦情	感謝	その他	計
6	0	0	0	0	6

10 防災・安全対策実施状況

(1) 教育

(単位：人)

月日	教育内容	参加児童数	参加職員数
5/7	消防設備取扱説明	0	9
7/29	プロジェクターを使用し、土砂災害について学習	31	5
11/17	防災ビデオ学習（地震）	36	9

(2) 防火・防災訓練

(単位：人)

月日	訓練名称	想定災害	実施時間帯	訓練内容					参加人員	
				通報	初期消火	消火訓練	避難	その他	児童	職員
4/21	避難訓練	火災	日中		○	○	○		45	15
5/18	避難訓練	火災	日中		○	○	○		47	15
6/16	避難訓練	土砂災害	日中				○		47	17
7/29	避難訓練	火災	日中	○	○	○	○	自衛消防訓練通知	41	13
8/21	避難訓練	地震	夕方			○	○	夜間想定、発電機使用訓練	52	11+習生2

月日	訓練名称	想定災害	実施 時間帯	訓練内容							参加人員	
				通報	初期 消火	消火 訓練	避難	その他	児童	職員		
9/3	情報伝達訓練	地震	朝					市子ども家庭課、児相との伝達訓練	36	16+実習生3		
10/20	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		29	14		
11/5	社会福祉施設 防災の日訓練	地震・火災	日中	○	○	○	○	保育学園と合同訓練 消防署立会	1	15		
12/1	町内防災訓練	地震	日中			○	○	井宮町防災訓練	19	5		
1/18	避難訓練	地震	日中			○	○	緊急地震速報訓練	51	11		
2/15	避難訓練	火災	夜間		○	○	○	発電機使用訓練	53	14		
3/21	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		45	10		

(3) 点検・検査

項目	月日
消防用設備点検	5/7 11/12
空調設備点検	5/10 10/4
貯水槽点検・清掃	7/12
建築設備定期検査（建築設備・防火設備）	10/25
簡易専用水道検査	11/13
電気設備点検	3/5

11 関係機関等との連携

(1) 児童相談所との連携

連絡会			その他
月日	児童相談所	内容	
5/14 5/23 10/29 11/7	静岡市児童相談所	措置児童の情報交換 進路、家庭引き取り、 里親委託、措置変更な ど	個別ケースの連絡・ 面接・ケース検討会 等の実施
5/23 10/16	浜松市児童相談所		
6/6 11/28	静岡県(中央・富士)児童 相談所		

(2) 幼稚園・学校との連携

幼稚園・学校名	月日	内容
かえで幼稚園	随時	新入園児のホームでの生活の様子等
安西小学校	4/3 毎月1回	新任職員来園・概要説明 児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
井宮小学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
末広中学校	4/4 随時	新任職員来園・概要説明 児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
籠上中学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
豊田中学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
各高校	随時	学期ごとの面接、進路面接など

12 地域との交流

(単位:人)

月日	内 容	参加児童数	参加職員数
5/21,11/14,12/17	井宮町防災委員会	0	1
8/10	井宮町七夕夏まつり	62	11
10/6	安西学区大運動会	27	8
2/2	井宮町豆まき大会	28	6

13 施設開放

月日	団体	内容	場所
6/30	NPO法人子ども虐待防止センター	電話相談員研修会	学習室
6/30	井宮町内会	グランドゴルフ大会	楓ホール
11/17	井宮町内会	井宮秋フェスタ	楓ホール
12/1	井宮町内会	地域防災訓練	運動場

14 職員研修実施状況

(1) 職場内研修

ア 全職員

月日	研修内容	講師
6/19	県立こども病院巡回相談	県立こども病院渥美医師

イ 新任職員

月日	研修内容	講師
5/20	CARE プログラム研修 I	村松指導員
5/22	性教育新任職員研修	市児童相談所杉山保健師、建穂保育士
5/27	CARE プログラム研修 II	村松指導員

月日	研修内容	講師
7/3	CARE プログラム研修Ⅲ	村松指導員
9/10	公文学習新任職員研修	日本公文教育研究会
1/28	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅰ	池ヶ谷副主任、安立指導員
2/26	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅱ	池ヶ谷副主任、安立指導員
3/5	新任（入職前）研修1	山口保育士
3/9	新任（入職前）研修2	長倉指導員
3/10	新任（入職前）研修3	池ヶ谷副主任
3/18	新任（入職前）研修4	藤田施設長
3/24	新任（入職前）研修5	安立指導員
3/26	新任（入職前）研修6	常葉指導員
3/27	新任（入職前）研修7	末吉主任
3/30	新任（入職前）研修8	建穂保育士

(2) 職場外研修

ア 県社協等研修

(単位：人)

月日	研修会名	会場	参加職員数
4/12	県社協法人監査研修会	静岡市	1
4/24,5/20,5/21	県社協キャリアパス対応生涯研修過程チームリーダーコース	静岡市	1
4/25,5/15,5/16	県社協キャリアパス対応生涯研修過程中心堅職員コース	静岡市	1
5/13,7/29,10/7, 12/2,2/10	児童福祉施設心理職グループスーパービジョン	静岡市	2
5/24	児童福祉施設等における暴力防止研修会	静岡市	4
6/12	衛生講習会	静岡市	1
6/13	経営協経営セミナー	静岡市	1
7/3,7/4	関東ブロック児童養護施設研究協議会	神奈川県	1
7/8	安全運転管理者講習	静岡市	1
7/13	社会的養育に関わる養育者研修会	静岡市	4
7/30	感染症講座	静岡市	2
7/22,7/23	経理応用講座	静岡市	1
8/19,9/3,9/4	県社協キャリアパス対応生涯研修過程初任者コース	静岡市	2
10/15	県社協会計実務専門講座	静岡市	1
10/18	県中央児童相談所 性教育講演会	静岡市	1
10/23,10/24	関東ブロック児童養護施設職員研修会	長野県	2
10/23,11/13,11/14	県社協キャリアパス対応生涯研修過程初任者コース	静岡市	2
11/27~11/29	全国児童養護施設研究協議会	徳島県	1
12/3,12/9	基幹的職員研修会	静岡市	2
12/18,12/19	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	東京都	1

月日	研修会名	会場	参加職員数
1/17,2/4,2/5	県社協キャリアパス対応生涯研修過程中堅職員コース	静岡市	1
1/24,2/12,2/13	県社協キャリアパス対応生涯研修過程初任者コース	静岡市	1
1/30,1/31	全社協ファミリーソーシャルワーク研修会	東京都	2
1/31	経営協経営セミナー	静岡市	1
2/1,2/2	日本小児診療多職種研究会	静岡市	2
2/10	社会福祉法人決算経理講座	静岡市	1
2/20	労務管理研修会	静岡市	1

イ 県養協研修

(単位：人)

月日	研修内容	会場	参加職員数
5/14	指保部会	富士市	1
6/11	県養協新任職員研修会	静岡市	5
7/10	指保部会	浜松市	1
9/17	指保部会	袋井市	1
9/24	事務職員部会 施設長との合同研修会	静岡市	2
10/29	指保部会	三島市	1
12/12	権利擁護推進研修会Ⅰ	静岡市	3
1/16	権利擁護推進研修会Ⅱ	静岡市	5

15 実習生の受入れ

(単位：日、人)

区分	期間	日数	人数	実習校
保育実習Ⅰ	5/13~5/23	10	1	東海こども福祉専門学校
	5/13~5/26	11	2	聖隷クリストファー大学
	5/27~6/9	12	1	静岡県立大学短期大学部
	7/1~7/11	10	2	常葉大学浜松キャンパス
	7/16~7/26	10	2	常葉大学浜松キャンパス
	8/1~8/11	10	2	静岡産業大学
	8/3~8/13	10	1	常葉大学草薙キャンパス
	8/19~8/29	10	2	常葉大学草薙キャンパス
	8/19~9/1	12	2	静岡英和学院大学
	9/2~9/15	11	2	浜松学院大学
	9/2~9/15	11	2	静岡福祉大学
	9/2~9/16	11	1	鎌倉女子大学短期大学部
	9/17~9/27	10	2	常葉大学短期大学部
	9/30~10/10	10	2	静岡福祉医療専門学校
	10/15~10/25	10	2	常葉大学短期大学部
10/28~11/9	10	2	常葉大学短期大学部	

区分	期間	日数	人数	実習校
	11/4~11/16	11	2	東海大学短期大学部
	11/11~11/21	10	2	常葉大学短期大学部
	11/18~11/30	11	2	東海大学短期大学部
	2/17~3/1	12	1	静岡英和学院大学
保育実習Ⅲ	10/7~10/20	12	1	静岡県立大学短期大学部
ソーシャル ワーク実習	5/13~6/10	23	1	聖隷クリストファー大学
	8/19~9/19	23	1	静岡英和学院大学
	10/1~10/5	5	1	静岡英和学院大学
	12/2~12/18	15	1	静岡福祉医療専門学校
計（延日数・実人員）		447	40	

16 インターンシップの受入れ

参加者数	参加延日数	学校数	参加者の在籍校
13	25	9	常葉大学、静岡大学、愛知淑徳大学、長野大学、会津短期大学、常葉短大、浜松短期大学、立正大学、近畿大学九州短期大学

17 里親支援の状況

(1) 里親認定前・更新研修（単位：人）

認定前研修		更新研修
講義	実習	
14	11	0

(2) 相談支援（単位：件）

訪問	来園・面接	電話・メール	計
0	8	19	27

(3) 里親会及び里親支援機関との連携

月日	内容	参加児童数	参加職員数
4/16 6/21, 7/16 10/23	里親相談員会議	—	1
4/16 6/18 7/16 10/23 11/19 1/21 2/21 3/11	里親支援機関連絡会	—	1
5/12	静岡市里親総会、里親研修	—	1
11/14	里親との懇談会	—	4
11/2	1日里親体験事業	10	2

18 視察研修の受入れ

(単位：人)

月日	団体名	人数
5/29	東海大学短期大学部	10
5/30	静岡県健康福祉部新規採用職員	26
6/5	静岡市こども未来局	4
6/13	神奈川県大和市南林間地区民生委員児童委員協議会	24
6/14	島田市民生委員児童委員協議会児童福祉部会	29
7/25	総務省行政評価局評価監視官室（厚生労働省担当）	5
7/25	藤枝市民生委員児童委員協議会生活援護部会	39
11/8	岡山県井原市議会市民福祉委員会	9
11/8	御前崎地区厚生保護女性会	20

